

令和6年度 いわき市農林業賞受賞者の紹介

〔個人・団体の部〕

◆ 受賞者 ◆	
おがわ やすお 様（73歳） いわき市添野町	
◆ 営農類型 ◆	
水稻	
◆ 経営内容 ◆	
水稻 18.5ha、水稻作業受託 8ha オクラ 5a、菊 7a	
	
◆ 受賞理由 ◆	
添野町の農家の長男として、幼少期より家業を手伝い、現在は水稻、オクラ及び菊を栽培されています。自身の所有・賃借する 18.5ha の圃場において主食用及び飼料用米の作付けを行い、また、勿来地区を中心に 8ha の作業受託（一部）を担うなど、年々、耕作面積を拡大し、効率的な農業経営を行っています。 令和2年10月にJGAP、令和3年8月にはFGAPを取得し、良質で安心・安全な米作りを行っており、生産工程をしっかりと管理している農家だけが生産することができる福島県のトップブランド米「福、笑い」を生産し、福島県全体の農業振興にも寄与されています。 また、「収量・食味コンバイン」や「GPS誘導による直進アシスト田植機」といったスマート農業技術を導入し、高品質な米の生産に向けて、作業の省力化を図っているほか、地元住民の雇用を行い、後継者育成に取り組んでおり、地域住民からの信頼も厚く、地域農業の中心的存在となっています。	

令和6年度 いわき市農林業賞受賞者の紹介

〔個人・団体の部〕

◆ 受賞者 ◆		
かぶしきがいしゃ おがわ えん 株式会社 小川きのこ園 様		
代表取締役 なかじま やすお 中島 康雄 様 いわき市小川町上平		
◆ 団体の概要 ◆		
平成 25 年 11 月 22 日設立 施設でのしいたけ菌床栽培 (年間約 83 万個)		
◆ 受賞理由 ◆		
小川町にて菌床しいたけを生産する法人であり、設立当初に建設した 324 m²の生育室や、令和 4 年に建設した 429 m²の培養棟など、規模拡大をしながら年間約 83 万個もの菌床しいたけを生産されています。 主に、県内の直売所や市内のスーパーマーケット・料理店を出荷先とし、独自に販路を拡大しており、地産地消の普及啓発に取り組まれているほか、東日本大震災以降、きのこ類には厳しい出荷制限がかかり、風評被害により原木栽培による生産が困難な中、施設栽培による安定した生産体制を確立することによって、低迷していたきのこ類の生産量増加に大きく貢献されました。 また、しいたけを栽培する過程で発生する「廃菌床」を 200 m²の施設内で堆肥化させ、地域農業者へ活用の推進を行い、環境に配慮した取組を行うほか、乾燥きのこなどの 6 次化商品を販売するなど、本市農業の振興に大きく寄与されています。		

令和6年度 いわき市農林業賞受賞者の紹介

〔青年の部〕

◆ 受賞者 ◆		
だいらく こうじ 大楽 浩司 様（49 歳）		
いわき市四倉町狐塚		
◆ 営農類型 ◆		
水稻		
◆ 経営内容 ◆		
水稻 47ha、水稻作業受託 31ha		
◆ 受賞理由 ◆		
四倉町にて、自身の所有・賃借する 47ha の圃場において、こしひかりの作付けを行い、また、地域の担い手として、四倉町を中心とした 31ha の作業受託を担うなど、大規模な農業経営をされており、本市農業の振興へ大きく寄与されています。		
高校卒業後、民間企業での仕事を行う傍ら、農家の繁忙期には兼業農家として家業へ従事され、先代の後継者として約 10 年前から専業農家の道を歩まれており、中核的な担い手として、年々営農規模を拡大し、広範な農地の有効活用・保全に大きく貢献されています。		
また、令和 4 年には「株式会社 BE」を設立し、経営安定に向けて精力的に活動されているほか、狐塚地区資源保全会の構成員として、多面的機能支払交付金事業による取組みを通して、農地保全・資源向上に尽力されており、地域の若手農業者の模範的存在として活躍されています。		